

子どもの頃から芝居に興味を持っていた有三は、やがて、森鴎外のドイツ文学翻訳に大きな刺激を受けて、自らも戯曲作家の道へと進みました。そして、ゲーテやシラーはじめ、古今のドイツやオーストリアの劇作家から多くを学びつつ、多くの名作を生み出しました。今回は、有三の演劇観と絡めながら、ドイツ文学・演劇の巨匠たちについて貴重など講演をいただきます。



令和8年度
文学講座

全2回

1962年栃木市（当時大平町）生まれ。大平中学校、栃木高校を経て、慶大卒。大学卒業後、『ワールドボクシング』誌記者、上智大学専任講師を経て、現在、慶應義塾大学文学部教授、同大学言語文化研究所所長、アート・センター副所長。専門領域はドイツ文学、学問史、スポーツ史、大衆文化論。公益財団法人ドイツ語学文学振興会理事長。元『三田文学』編集長。ベルリン自由大学客員研究員（2012-2013、2023-2024）。



【講師】

慶應義塾大学 桑川麻里生
（くめかわまりお）教授

山本有三とドイツ演劇 *Part.1* *Part.2*

主催 | NPO法人山本有三記念会 共催 | 栃木市栃木図書館

日時 / 場所

申込受付は 9/8（火）より

山本有三ふるさと記念館
TEL.0282-22-8805

受付 / 9:00 - 16:30（月曜休館・祝日の場合翌日）

栃木市栃木図書館
TEL.0282-22-3542
受付 / 9:00 - 19:30（金曜休館）

2回連続でのご受講をお願いしております



◀ こちらのQRコードから申し込みも可能です

2回連続でのご受講をお願いしております
10月 *October 24&31*
24日 土 31日 土
両日とも 午前10時30分
スタート
(90分程度)

会場 / 栃木市栃木図書館 2階会議室 / 視聴覚室
定員30人（要申込 / 無料）